

### 環境調査結果のお知らせ

令和6年10月1日9時から浦ノ内湾の環境調査を実施しました。

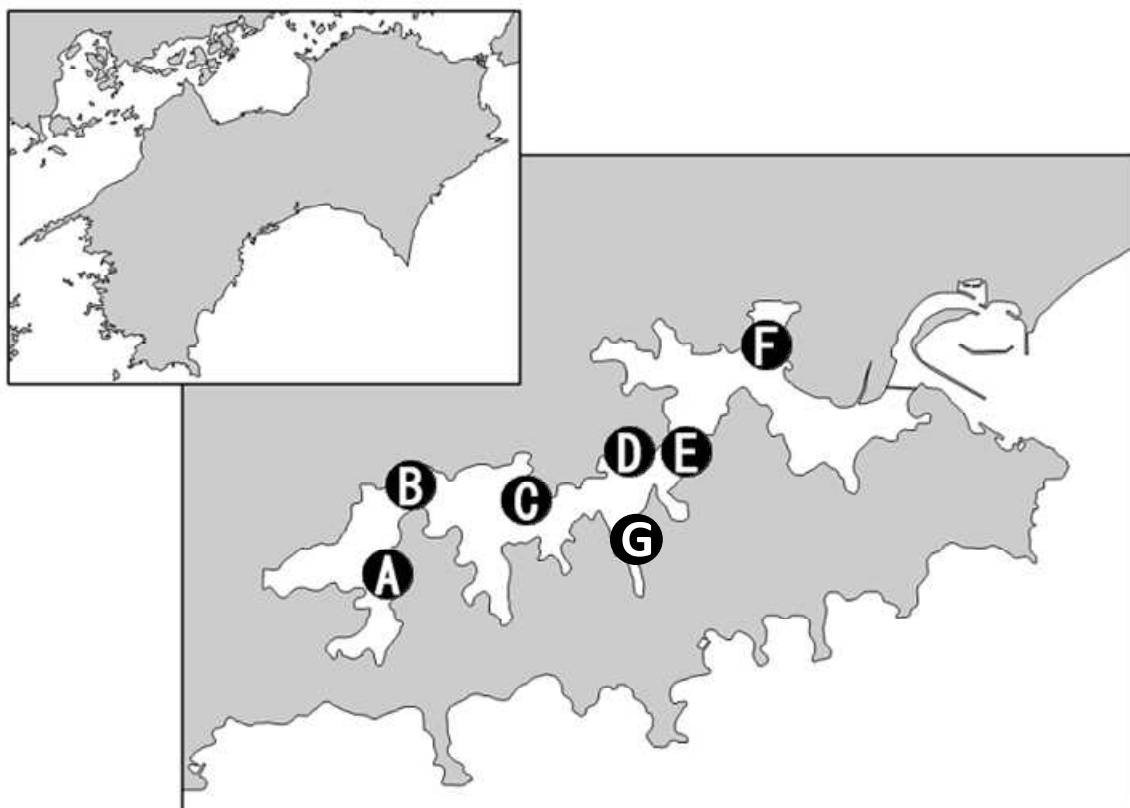
#### 概況

検鏡の結果、魚類に対して有害なシャットネラ属が最高で600 cells/mL、二枚貝に対して有害なヘテロカプサ・サーキュラリスカーマが最高で14,100 cells/mL確認されました。シャットネラ属及びヘテロカプサ・サーキュラリスカーマは漁業被害が想定される細胞密度を超えていますので、十分注意してください。

また、湾奥及び養殖漁場の水深2 m及び5 m層では溶存酸素量が低下していますので、十分注意してください。

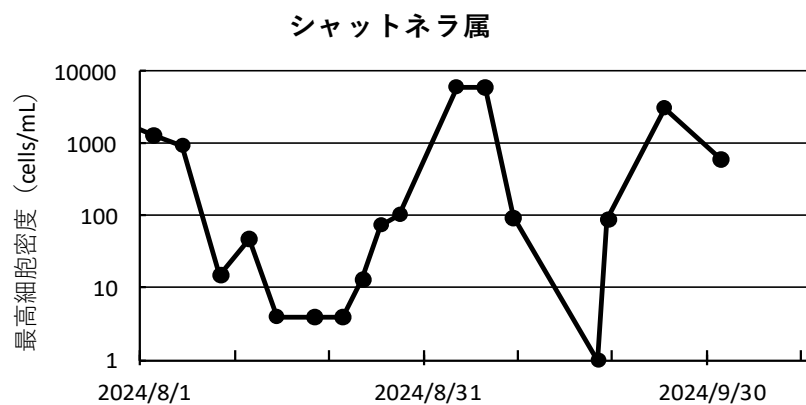
海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン		
	深度	水温	塩分	溶存酸素	シャットネラ	ヘテロカプサ・ サーキュラリスカーマ	珪藻
	(m)	(°C)		(mg/L)	属		
A 鳴無 (2.6m) 【09:58】	0	28.4	28.9	5.7	0	0	-
	2	29.2	29.9	4.2	110	0	-
	5	28.0	30.3	1.0	1	0	-
	底層 8	27.9	30.7	2.9	0	0	-
B 中学校前 (2m) 【10:07】	0	28.4	28.8	6.2	0	90	780
	2	29.0	29.6	4.8	600	14,100	950
	5	28.2	30.1	0.7	4	24	40
	10	28.0	31.1	3.9	0	3	60
底層 11	28.0	31.1	3.9	2	1	60	
C 目ノクソ (2.8m) 【10:20】	0	28.6	29.0	7.6	1	0	-
	2	28.5	29.3	6.9	103	620	-
	5	28.1	30.2	1.4	7	16	-
	10	28.0	30.9	4.1	1	3	-
底層 14	27.8	31.3	4.3	0	8	-	
D 光松 (2.4m) 【10:53】	0	28.7	29.0	7.5	90	200	640
	2	28.9	29.9	1.4	220	850	650
	5	28.1	30.4	2.7	15	6	60
	10	27.9	31.1	4.5	0	0	40
底層 15.5	27.7	31.5	5.2	0	0	50	
E 大鹿 (3.3m) 【11:02】	0	28.6	29.2	5.3	7	15	-
	2	28.5	29.7	3.6	17	140	-
	5	28.0	30.6	3.7	0	4	-
	10	27.8	31.2	4.9	0	0	-
底層 15.5	27.5	31.6	5.3	0	0	-	
F 水試小割前 (3.1m) 【11:43】	0	28.9	29.5	5.4	0	0	-
	2	28.5	29.5	5.5	1	0	-
	5	28.0	30.8	5.3	0	0	-
	底層 8	27.6	31.5	5.4	0	0	-
G 福良 (3.2m) 【10:38】	0	28.8	28.7	5.3	0	0	-
	2	28.9	29.7	3.6	0	0	-
	5	27.8	30.3	1.5	0	7	-
	底層 9.5	28.0	30.8	3.6	0	0	-



- A: 鳴無
- B: 中学校前
- C: 目ノクソ
- D: 光松
- E: 大鹿
- F: 水試小割前
- G: 福良

令和6年度 浦ノ内湾におけるシャットネラ属の最高細胞密度の推移



## 参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準 (※1)	警戒基準 (※2)	主な赤潮発生時期 ※3		
				浦ノ内湾	野見湾	宿毛湾
<i>Karenia mikimotoi</i> (カレニア・ミキモトイ)	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	5~8月	6~8月	—
<i>Chattonella</i> spp. (シャットネラ属)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6~8月	—	—
<i>Cochlodinium polykrikoides</i> (コクロディニウム・ポリクリコイデス)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—	2~4月	5~6月
<i>Heterosigma akashiwo</i> (ヘテロシグマ・アカシオ)	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	50,000 cells/mL	3~12月	4~8月	4~11月
<i>Dictyocha</i> spp. (ディクテオカ属)	魚類等のへい死	—	5,000 cells/mL	6~7月	4月	—
<i>Takayama</i> spp. (タカヤマ属)	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8~9月	—	—
<i>Heterocapsa circularisquama</i> (ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ)	二枚貝のへい死	—	500 cells/mL	8~11月	—	—
<i>Alexandrium</i> spp. (アレキサンドリウム属)	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	—	1~4月	3~5月
<i>Gymnodinium catenatum</i> (ギムノディニウム・カテナータム)	二枚貝の毒化	—	1 cell/mL	—	—	2~7月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。